

# 『変革2027』の実現に向けた組織の再編について

提案を受ける！③

## 設備関係

各現業機関の箇所体制

現行 【 】は支社	→	再編後	一般			管理		
			現行	改正	増減	現行	改正	増減
土浦保線技術センター	→	土浦保線技術センター	25	23	△2	6	5	△1
水戸保線技術センター 【設備部保線課】	→	水戸保線設備技術センター	39	35	△4	10	7	△3
いわき保線技術センター	→	いわき保線技術センター	29	27	△2	6	5	△1
水戸土木技術センター 【設備部土木課】	→	水戸土木設備技術センター	22	20	△2	11	10	△1
水戸建築技術センター 【設備部建築課】	→	水戸建築設備技術センター	9	8	△1	4	4	±0
水戸電力技術センター 【設備部電力課】	→	水戸電力設備技術センター	42	41	△1	12	12	±0
水戸信号通信技術センター 【設備部信号通信課】	→	水戸信号通信設備技術センター	60	59	△1	13	13	±0
【設備部機械設備センター】	→	水戸機械設備技術センター	変更なし					

## 主な議論

- 「設備21」について  
「設備21」で確認している基本的な考え方は踏襲していく。
- 各技術センターの要員減について  
設備総務の再編(水戸機械設備技術センターを除く全技術センター)と、統合による効果(土浦、水戸、いわき各保線技術センター)によるもの。
- 派出・メセの今後について  
庭先意識を今後も醸成していくために派出やメセ等は残していく。
- 各技術センターの基本的な考え方について  
「企画セクション(計画・運営・統制)」、「設備管理セクション」を配置していく。  
一気通貫(検査→施工)で担当することにより、効率的な業務の推進と社員のレベルアップ・やりがい創出していく。
- 安全教育について  
ベテラン社員の退職や若手社員が増えているためOJTによる教育を強化していく。
- 設備技術センターの執務箇所について  
現業事務所または支社ビルへ統一するか、分けるかは検討中。